

なかむら散歩 34～秀吉清正記念館⑥～

秀吉記念館は兼松正吉ゆかりの資料 40 点を所蔵しています。

兼松正吉は、織田信長、織田信雄、豊臣秀吉、豊臣秀次、徳川家康、松平忠吉、徳川義直に仕えた在地武士です。信長から足半を拝領した逸話が特に有名です。

尾張の武将 兼松正吉

兼松正吉は、1542 年（天文 11）尾張葉栗郡に生まれ、86 年を生きました。信長公記にも、正吉のエピソードがいくつか記録されています。

↓↓↓足半のエピソード↓↓↓

1573 年(天正元)8月、正吉は朝倉義景との刀根坂の戦いの折、草履をはく暇もなく、裸足で駆け回って戦い首級をとったので、信長が日ごろから携帯していた足半(あしなか)を与えたという(「信長公記」巻6より)。

兼松家の家宝とされ、文書などとともに秀吉清正記念館に寄贈されました。



兼松正吉像
(名古屋市博物館蔵)
秀吉清正記念館 展示パネルより



足半
名古屋市指定文化財

織田信長が、兼松正吉に与えた足半が目の前にあると思うと感動ものです。

現在、秀吉清正記念館で展示中です。